

医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。

使用上の注意改訂のお知らせ

注意欠陥/多動性障害治療剤(選択的ノルアドレナリン再取り込み阻害剤)

劇薬、処方箋医薬品

アトモキシセチン カプセル 5 mg「アメル」

アトモキシセチン カプセル 10 mg「アメル」

アトモキシセチン カプセル 25 mg「アメル」

アトモキシセチン カプセル 40 mg「アメル」

ATOMOXETINE

(アトモキシセチン塩酸塩製剤)

2020年3月



共和薬品工業株式会社

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、『アトモキシセチンカプセル 5mg、カプセル 10mg、カプセル 25mg、カプセル 40mg「アメル」』の【使用上の注意】を改訂致しますので、ご使用に際しましては、下記内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

敬白

記

【改訂内容】(下線——部 追加改訂箇所)

改 訂 後			現行添付文書 (2019年2月作成)		
【禁忌 (次の患者には投与しないこと)】 1. ー現行のとおりー 2. MAO 阻害剤 (セレギリン塩酸塩、ラサギリンメシル酸塩、サフィナミドメシル酸塩) を投与中あるいは投与中止後 2 週間以内の患者 [「相互作用」の項参照] 3. ～ 5. ー現行のとおりー			【禁忌 (次の患者には投与しないこと)】 1. ー略ー 2. MAO 阻害剤 (セレギリン塩酸塩、ラサギリンメシル酸塩) を投与中あるいは投与中止後 2 週間以内の患者 [「相互作用」の項参照] 3. ～ 5. ー略ー		
3. 相互作用 (1) 併用禁忌 (併用しないこと)			3. 相互作用 (1) 併用禁忌 (併用しないこと)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
MAO 阻害剤 セレギリン塩酸塩 (エフピー) ラサギリンメシル酸塩 (アジレクト) サフィナミドメシル酸塩 (エクフィナ)	両薬剤の作用が増強されることがある。MAO 阻害剤の投与中止後に本剤を投与する場合には、2 週間以上の間隔をあけること。また、本剤の投与中止後に MAO 阻害剤を投与する場合は、2 週間以上の間隔をあけること。	脳内モノアミン濃度が高まる可能性がある。	MAO 阻害剤 セレギリン塩酸塩 (エフピー) ラサギリンメシル酸塩 (アジレクト)	両薬剤の作用が増強されることがある。MAO 阻害剤の投与中止後に本剤を投与する場合には、2 週間以上の間隔をあけること。また、本剤の投与中止後に MAO 阻害剤を投与する場合は、2 週間以上の間隔をあけること。	脳内モノアミン濃度が高まる可能性がある。

【改訂理由】

以下の項目を改訂し、注意を喚起することと致しました。

自主改訂

「禁忌」、「3. 相互作用 (1) 併用禁忌」の項：


B 型モノアミン酸化酵素阻害剤であるサフィナミドメシル酸塩が販売されており、相互作用の相手薬剤と整合性を図るため追記しました。

以上

これらの情報は、3月に掲載予定のDS UNo.287に掲載致します。

また、改訂しました添付文書がお手元に届くまでには、しばらく時間を要しますことをご了承願います。

なお、改訂後の添付文書は弊社ホームページ <http://www.kyowayakuhin.co.jp/amel-di/> 及び医薬品医療機器総合機構ホームページ <http://www.pmda.go.jp/> に掲載致します。

お問い合わせ先：共和薬品工業株式会社 安全管理部 大阪市北区中之島 3-2-4  0120-041-189